

第二次佐久市総合計画 前期基本計画

平成 3 0 年度進行管理第 2 部会資料

第 3 章

第3章 力強い産業を営む活力と魅力のあるまちづくり

経済のグローバル化の進展などによる国内外の市場競争激化の中で、地域の農林水産業、商工業の競争力強化を支援するとともに、豊かな自然環境、高速交通網の結節点としての優位性、災害の少なさといった地域の特徴を生かした企業誘致の推進により、活力あるまちづくりを目指します。

人口減少克服と豊かな生活につながる働く場、働きの質を確保することで、働きやすく、暮らしやすいまちづくりを目指すとともに、若者、女性、障がい者などの多様な担い手が満足して活躍できるまちづくりを目指します。

消費者ニーズや販売形態の多様化により商圈や消費購買動向が絶えず変化する中で、まちの核となる商店街や商業施設、豊かな自然環境や地域文化を生かした観光地に国内外から多くの人が集い、交流する魅力あるまちづくりを目指します。

1 豊かな自然を生かした農林水産業の振興

施策名 「農業」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.01 → 目標値 (H33) 3.11</p>	<p>H30 満足度指数</p> <p>3.00</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.93</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.92</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.01</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.00</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.93	平成26年	2.92	平成28年 (基準値)	3.01	平成30年	3.00
年度	満足度指数											
平成24年	2.93											
平成26年	2.92											
平成28年 (基準値)	3.01											
平成30年	3.00											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、平成28年に0.09上昇している。今後は、新・農業振興ビジョンに基づき、担い手の経営基盤の強化、農地の利用集積、安全安心な食料供給、農村の振興等に積極的に取り組み、農家や市民の満足度の向上を目指す。目標値は、過去4年間の伸び率(年+0.02)が継続することを見込み、3.11とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プランについて延べ15地区において見直しを行いました。また、農地中間管理事業において新たに約72haの農地集積を行いました。 ・新規就農者や農業後継者の確保・育成を図るため、市独自事業により定着のための経費を補助しました。実績:補助金交付件数 5件 交付額 1,000,000円 ・農作物の有害鳥獣対策として、望月地区1箇所、合計4,000mの広域防護柵を設置しました。 ・大阪府中央卸売市場においてトップセールスを行うとともに、酒造好適米の栽培及び醸造試験を実施しました。 ・地元農家の生産物が学校給食の食材とし提供される仕組みである「学校給食応援団」が、グッドデザイン賞を受賞しました。 ・約268haの農地を対象に中山間地域等直接支払交付金を交付し、地域の取組を支援しました。 ・老朽化した揚水ポンプの交換や、傷んだ排水路の改修、農道舗装を実施するなど農業基盤施設の整備を推進しました。 ・市内11組織において多面的支払機能交付金事業に取り組み、農地の適正な維持管理や機能向上が図られました。 ・広報紙や農業委員会委員などを通し、より経営に役立つ情報などを農家に提供しました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手が減少、高齢化する中で、新規就農者や農業後継者の確保・育成を図る必要があります。 ・地域の特徴を生かした農産物のブランド化、産地化を図るため、産地における農業用施設の整備などを支援する必要があります。 ・認定農業者の育成を図るとともに、経営の安定化のために農地の集積や法人化に向けた支援を行う必要があります。 ・優良農地の保全を図るとともに、荒廃農地や有害鳥獣による農作物被害対策を講じる必要があります。 ・農業基盤施設の老朽化が進んだ地区を計画的に整備する必要があります。 ・農業基盤施設維持管理においては、地域の共同活動も促進する中で、長寿命化を図る必要があります。 ・農地等の利用の最適化を積極的に推進する必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プランについて地域の話し合いを進めるとともに、農地中間管理事業による農地の集積を進めます。 ・農業振興地域整備計画の総合見直しを行うことにより、農業生産の基盤となる優良農地を確保します。 ・農作物の有害鳥獣対策として、広域防護柵の設置などの取組を支援します。 ・地域の特色を生かした農水産物の生産強化を図るほか、6次産業化や地産地消の推進を図ります。 ・都市部との交流を図るため、農業体験を行う団体等を支援します。そのため、農村地域を守る組織の支援を継続します。 ・農業基盤施設の老朽化を調査し、施設や地区ごとの整備計画を作成します。 ・多面的機能の観点から地域の共同活動による農業基盤施設の維持管理を普及させます。 ・担い手への農地の集積・集約化とともに、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進を図ります。 											
<p>担当課</p>	<p>農政課・耕地林務課・農業委員会事務局</p>											

施策名 「水産業」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.08 → 3.18</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.08</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.01</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.08</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.08</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.08</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.01	平成26年	3.08	平成28年 (基準値)	3.08	平成30年	3.08
年度	満足度指数											
平成24年	3.01											
平成26年	3.08											
平成28年 (基準値)	3.08											
平成30年	3.08											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、横ばいである。 今後は、これまでの内水面漁業振興に加え、平成29年度から鮎に対する振興策を着実に進めていくことにより満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、過去4年間の伸び率(年+0.02)が継続することを見込み、3.18とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水田鮎生産量拡大のため「水田鮎養殖技術研修」を開催するとともに、一般向けセミナーを開催しました。 実績: 技術研修参加者 8名 (H29年度は3名) 一般向けセミナー参加者 30名 (H29年度 30名) 佐久鯉消費拡大のため、新たな食べ方(低温熟成鯉の刺身)の提案と試食会を開催しました。 実績: 会議2回開催し、試食会参加者 200名 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域文化の継承につながる鮎の水田養殖は、担い手の不足や高齢化などにより生産者が減少しており、生産活動を支援する必要があります。 鯉だけでなく、信州サーモンなど佐久市産の養殖魚について積極的なPRを行う必要があります。 佐久鯉については、若年層を始めとして消費が減少していることから、消費者層を明確化した上で消費拡大を図る必要があります。 商業や観光業と連携し、水産業の多面的な振興を促進する必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水田鮎養殖技術研修のほか、生産基盤となる稚魚の養殖技術研修を実施します。 ガバメントクラウドファンディングを活用することにより、低温熟成した佐久鯉の刺身による美味しさの情報発信、提供可能店舗の拡大を図ります。 											
<p>担当課</p>	<p>農政課</p>											

施策名 「林業」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>2.85 → 2.90</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>2.86</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.84</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.88</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.85</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.86</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.84	平成26年	2.88	平成28年 (基準値)	2.85	平成30年	2.86
年度	満足度指数											
平成24年	2.84											
平成26年	2.88											
平成28年 (基準値)	2.85											
平成30年	2.86											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、平均値よりも低い値で、横ばい傾向である。素材生産が増加しているにもかかわらずこのような傾向にあるのは、木材利用に対する市民の関心が薄くなっていることによるものと考えられる。</p> <p>今後は、地元産材であるカラマツなどを公共施設などに活用し、地元産材の利用の促進や、多くの人に木の温もりを身近で感じてもらう関心を高めることにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、年+0.01を見込み2.90とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岩村田小学校の改築に当たり、管理特別教室棟の腰壁や間仕切の材料として、大沢財産区と春日財産区で生産されたカラマツ材を使用しました。 ・松くい虫防除対策を市内全域で実施するとともに、被害先端地域の臼田地域では、県や地元区等と連携を図りながら重点的に実施し、被害木を922立方メートル処理しました。 ・有害鳥獣駆除は、農林業被害など市民の皆さんからの通報を受け、市と佐久市猟友会が情報共有、連携して駆除に取り組み、ニホンジカ、イノシシ1,267頭を駆除しました。また、小諸市、立科町と被害状況などの情報交換を行うとともに、立科町とニホンジカの広域駆除を実施しました。 ・各区から寄せられた8件の治山、治水事業要望については、事業主体である県へ要望書を提出し、県とともに現地調査を行いました。また、県においては、緊急性の高い1件の治山、治水工事を完了しました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な森林整備とともに、地元産カラマツ材の活用を促進する必要があります。 ・松くい虫による被害は、今まで被害のなかった市内の標高の高い地域や南佐久郡等まで広がっていることから、防除対策の必要性が市内全域に広がっています。 ・有害鳥獣であるニホンジカ等は、市町村の境界を越えて広域を移動する動物であることから、市内の生息数や地域分布の把握が難しく、効果的な駆除が困難となっています。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産カラマツ材などの公共施設での積極的な活用を推進します。 ・松くい虫防除事業の財源に、引き続き森林づくり県民税を全額活用します。また、今後も防除に関する研究や分析などを行っている国、県からの情報や指導を参考に、効果的な防除対策に努めます。 ・有害鳥獣駆除は令和元年度のニホンジカ、イノシシの目標駆除頭数が、前年度比で750頭増え2,000頭となっているため、これまで以上に佐久市猟友会等と綿密な情報伝達や連絡を行い、状況把握と的確な被害防止を実施します。また、引き続き小諸市、立科町と広域連携を実施します。 ・治山、治水事業要望は、事業主体である県とともに現地調査を行い、事業実施の実現に取り組みます。 											
<p>担当課</p>	<p>耕地林務課</p>											

2 活力と魅力があふれる商業の振興

施策名 「商業・サービス業」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>2.87 → 3.00</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>2.84</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.86</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.85</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.87</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.84</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.86	平成26年	2.85	平成28年 (基準値)	2.87	平成30年	2.84
年度	満足度指数											
平成24年	2.86											
平成26年	2.85											
平成28年 (基準値)	2.87											
平成30年	2.84											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、平均の3.00を下回りほぼ横ばいである。 今後は、中心市街地活性化基本計画策定による商業振興を図ることにより、平均値である3.00を目指す。</p>												
<p>主な施策 の 進捗状況</p>	<p>中小企業者への経営支援のため、佐久市中小企業融資制度による資金の融資を実施しました。 実績: 市制度融資実績 241件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街等の魅力を高めるため、空き店舗対策事業補助金の交付を行いました。 実績: 交付実績 46件の申請者に対して、19,533千円交付 ・佐久物産振興会と連携し、友好都市、交流都市などで開催されるイベントで市物産の紹介、販売を行いました。 実績: 県外イベント出展 15回(相模原市民桜まつり、ちがさき産業フェア、朝霞市民まつり等) 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の店舗数・売り場面積は減少傾向が続いていることから、市内外から多くの人を呼び込むことのできる商業・サービス業の振興を図る必要があります。 ・大型店の立地に対し、適切な出店が行われるよう、関係機関と連携する必要があります。 ・商店経営者の人材育成や、後継者不足が深刻な課題となっており、適切な支援を行う必要があります。 ・消費税率引き上げに伴い国が進めるキャッシュレス化への対応を検討する必要があります。 ・高齢化に伴う買い物弱者の増加が懸念されることから、市としての効果的な対応を検討する必要があります。 											
<p>今後の 方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久市中小企業融資制度については、商工団体、金融機関等との連携により、経済状況等に応じた融資の手続きを進めます。 ・商店街組織のまちおこし事業などの商店街活性化事業により、既存商店街の魅力の創出を支援するとともに、「空き店舗対策事業」により、空き店舗の解消を推進します。 ・現在進めている中心市街地活性化事業計画等から、市として行うべき支援等の検証を進め、各地域の既存商店街のあり方検討にも応用することにより、「賑わいのあるまち」につながる施策を推進します。 ・商業施設などの出店が適切に行われるよう、関係機関との連携を強化します。 ・商店街のキャッシュレス化や、買い物弱者などへのきめ細やかなサービス等に対して、継続的に協力していきます。 ・サービス業の活性化のため、専門的技術を備えた人材の育成・確保の支援を継続します。 ・各地で開催されるイベントにおいて、市物産の紹介、販売を行い、販路拡大を図ります。 											
<p>担当課</p>	<p>商工振興課</p>											

3 地域の魅力を生かした観光の振興

施策名 「観光」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.03 → 3.15</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.03</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.85</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.89</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.03</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.03</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.85	平成26年	2.89	平成28年 (基準値)	3.03	平成30年	3.03
年度	満足度指数											
平成24年	2.85											
平成26年	2.89											
平成28年 (基準値)	3.03											
平成30年	3.03											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、平成28年には平均である3.00を超えた。これは、関係都市などのイベント参加や新聞雑誌などの観光誘客宣伝などを強力に進めてきたことによるものと考えられる。 今後は、インターネットなどによる情報発信や、広域連携を図ることによる魅力の向上を進めることにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、過去の伸び率から+0.12の伸びを見込み3.15とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久バルーンフェスティバルは、悪天候によりフライト数が少ない中でも観客動員数が22万5千人となりました。 ・観光重点PR地区を臼田地区とし、集中プロモーションを展開し、ぴんころウォーキング等を開催しました。 ・企業版ふるさと納税を活用し、観光PRバルーン「北斗の拳バルーン」を作成しました。 ・佐久市内山地区アウトドアフィールド基本構想を策定しました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光人口の増加や交流人口の創出、移住促進につなげるためには、佐久市の認知度がまだまだ低いことから、既存観光施設を含め新たなPR方法について検討する必要があります。 ・国内のみならず県内における訪日外国人旅行者数の増加傾向が続いていることから、インバウンド対応を検討する必要があります。 ・観光施設の計画的な整備、修繕を推進する必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は年度ごとの観光重点PR地区を浅科地区とし、集中プロモーションとして、世界かんがい施設遺産に登録された五郎兵衛用水、中山道などのPRを実施します。 ・新たに製作した北斗の拳バルーンを活用したイベントを首都圏などで開催します。 ・軽井沢に来る観光客を誘引するため同町との連携とPRにより佐久市の認知度を高めます。 ・SNSにより、佐久市の魅力などについて話題性のあるの情報提供を継続して推進します。 ・内山牧場キャンプ場のリニューアルを実施し、新たな誘客と地域の活性化に取り組みます。 ・地酒や良質な食材が豊富なことは佐久の魅力となっていることから、地域の食を健康長寿のまちに結びつけることにより、新たな佐久のPRポイントとして発信します。 ・インバウンド対応として、宿泊関係者等関係団体と連携し、受け入れ体制の強化を図ります。 ・中部横断自動車道の全線開通を見据え、道の駅「ヘルシーテラス佐久南」などを活用した更なる観光交流を推進します。 ・観光施設や、観光案内標識といった観光関連施設の計画的な整備、修繕を推進します。 											
<p>担当課</p>	<p>観光課</p>											

4 力強いものづくり産業の振興

施策名 「工業」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>2.98 → 3.10</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.00</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.82</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.86</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.98</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.00</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.82	平成26年	2.86	平成28年 (基準値)	2.98	平成30年	3.00
年度	満足度指数											
平成24年	2.82											
平成26年	2.86											
平成28年 (基準値)	2.98											
平成30年	3.00											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、平均値を下回っているが、上昇傾向にある。今後は、健康長寿産業振興ビジョンに基づく施策展開をすることにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から28年までの4年間で0.16上昇しており、今後も上昇傾向を持続させるため5年間で+0.12を見込み、3.10とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 工業生産基盤の強化のため、市内既存企業の工場建設、生産設備導入への経費の補助を実施しました。 実績:平成30年度補助金交付件数:8件 工業経営基盤の強化のため、企業間連携による新製品、新技術の共同開発への補助を実施しました。 実績:平成30年度補助金交付件数:6件 産業立地推進員を2名配置(首都圏・中京圏)し、企業訪問により企業誘致活動を推進しました。 製造業事業者に対する経営・技術・知的財産に関する相談支援事業を実施しました。 「佐久産業支援センター」や商工団体と連携を図り、新製品・新技術の研究開発などの支援を行いました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市が所有する工業団地は全て売却となり、企業誘致の受け皿となる新たな工業用地の確保が急務となっています。 市内製造業者も業績の回復傾向にあり、設備投資を増やしていることから、今後も、社会情勢や企業ニーズなどを注視しつつ、将来の競争力強化に向けた投資に対し、適切な支援を行う必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)佐久臼田インター工業団地の早期整備に取り組みながら、市内の空き工場や空き事務所などの発掘にも努め情報発信を行うことで企業誘致を推進します。 健康長寿産業ビジョンに基づき、産業支援機関と連携し、医療、福祉産業の創出を推進していくとともに、経済状況を把握し社会情勢の変化や企業ニーズを的確に捉え、地域における産業の育成及び発展につなげます。 											
<p>担当課</p>	<p>商工振興課</p>											

5 地域を支える安定した雇用の確保

施策名 「就労・雇用」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 2.67 → 目標値 (H33) 2.80</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>2.80</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.46</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.64</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.67</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.80</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.46	平成26年	2.64	平成28年 (基準値)	2.67	平成30年	2.80
年度	満足度指数											
平成24年	2.46											
平成26年	2.64											
平成28年 (基準値)	2.67											
平成30年	2.80											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平均値を下回っているものの、上昇傾向にある。今後は、就職相談会や首都圏における企業PR、インターンシップ実施学生に対する支援策などにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、平成24年から28年までの4年間で0.21上昇していることから、今後も上昇を見込み2.80とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 若者の市内企業への就職促進のため、インターンシップ事業に参加する学生を受け入れた企業に対し補助金を交付するとともに、参加する学生にも、交通費及び宿泊費について補助金を交付しました。 実績: 受入れ企業数 3社 (参加学生数 24名 (うち参加学生への補助利用者19名)) 無料職業相談所「さくさくワーク」を平成30年6月に開設し、就職相談、職業紹介を実施しました。 実績: 相談件数 158件 うち採用 11件 (就職支援員2名配置) 市主催の面接会等や市内企業のPR、学生の就活状況等調査のため、就職支援員による県内、群馬、山梨の各大学へ訪問を行いました。 実績: 上田地区4校、長野地区5校、松本・諏訪・茅野地区4校、高崎、前橋地区7校、甲府・大月・都留地区4校 計24校 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> より効果的、効率的な企業と人材のマッチングのため、支援制度等を検討する必要があります。 少子化、人口減少の進行に伴い、労働力不足が社会問題化してきていることから、新規学卒者の地元就職の促進やU・J・Iターン施策の推進により、若年層を中心に労働力の確保を図る必要があります。 女性、高齢者、障がい者など多様な担い手が、技術・知識を十分に発揮できる就労体制の整備を促進する必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> 企業及び学生等のニーズを把握し、就職支援員が市内企業と求職者のマッチングを図り、ハローワーク等の関係機関と連携する中で、就労・雇用対策を強化します。 就職支援として、県内外の大学等への訪問による市内企業PRや、ハローワーク等の関係機関と連携を強化し、その時の雇用情勢やニーズに対応した対策を検討し実施していきます。 無料職業紹介所「さくさくワーク」による、就職支援員の就職相談、職業紹介を実施し、市内企業における雇用の確保及び市民や移住希望者、学生等に対する就職支援施策の強化を図ります。 関係機関と連携を図り、高齢者、障がい者などの雇用の促進を図ります。 											
<p>担当課</p>	<p>商工振興課</p>											